

製品名: インテグリン α V ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87568**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:116 kDa; Observed MW:135, 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	Integrin alpha V
別名	CD51; MSK8; VNRA; VTNR
遺伝子 ID	3685
SwissProt ID	P06756
免疫原	ヒトインテグリン α V の合成ペプチド

背景

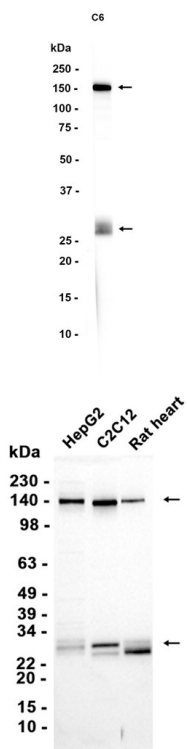
この遺伝子産物はインテグリン α 鎖ファミリーに属する。インテグリンは、 α サブユニットと β サブユニットからなるヘテロ二量体

の膜貫通タンパク質であり、細胞表面接着とシグナル伝達に機能する。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって α Vサブユニットを構成する軽鎖と重鎖を生成する。このサブユニットは β 1、 β 3、 β 5、 β 6、および β 8サブユニットと会合する。 α Vと β 3サブユニットからなるヘテロ二量体は、ヒトロネクチン受容体としても知られている。このインテグリンは、血管新生と癌の進行を制御する可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。インテグリン α 5サブユニットとインテグリン α Vサブユニットは、それぞれ異なる遺伝子によってコードされている点に留意されたい。[RefSeq 提供、2015年10月]

研究分野

-

画像データ



インテグリン アルファ V ウサギ モノクローナル抗体を 1:1000 で使用した C6 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。

AMRe87568 を 1:1000 で使用して、HepG2、C2C12 細胞およびラット心臓組織からの抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。